

平成29年度 学校関係者評価

認定こども園 大阪千代田短期大学附属幼稚園

本園の学校関係者評価の委員会を開催し、幼稚園運営の改善を図るために検討した評価結果について報告します。今年度は2回会議を開催しました。それぞれの方に意見を出していただいた評価の結果を報告いたします。

1. 全体的評価

本園の教育方針、教育目標、保育内容等については、園児の育ちの姿が明確にされており、概ね良好である。未就園児対象事業「ぽっぽクラブ」や「ちびっこひろば」の取り組み等に見られる積極的な姿勢は評価されてよい。地域の祭りや中学校区の健全育成行事、駅頭でのあいさつ運動等、地域行事にも参加し頑張る園児の姿は、みんなに元気を与える取り組みで大いに評価したい。園での活動やPTAでの取り組みなどのホームページなどで宣伝していくことなど、今後、積極的に取り組まれることを期待したい。

2. 学校関係者評価の委員

No	氏名	
1	山田 由紀子	元大阪千代田短期大学講師
2	小坂 真	地域住民（卒園児保護者）
3	原 貴美子	PTA代表
4	増永 友香	PTA代表
5	中井 美樹	PTA代表
6	西條 和泉	PTA代表
7	上原 悠	PTA代表
8	黒澤 幸世	PTA代表

3. 開催日

第1回 2017年6月9日（金）10時から11時30分

第2回 2018年1月22日（月）10時から11時30分

場所は幼稚園園舎内 PTAルームにて開催

4. 委員から出されたその他の主な意見

- ・幼稚園の印象は、明るく清潔感がある。保育内容は、幼稚園時代にしかできないことをのびのびとさせてもらえている。しっかり遊んで、子どもたちも楽しんでいる。
- ・「保護者と共に」をモットーにされているPTA諸活動は役員さんを中心に協力的に頑張っている印象が強い。認定こども園になり、働いている保護者の方も多いが、参加出来る時には積極的に動いてくださる方がいて心強い。しかし、実際園児数の減少や働く方の増加も考え、PTAのあり方を検討していった方がよいのではないかな。
- ・諸行事への短大生や高校生のボランティア参加者がふえてきている点は、他にない強みと思う。7月に行なわれる「なつまつり」では、ゲームコーナーを企画・運営をしてもらったが、将来保育を目指す学生・生徒たちの学びの場であることと、保護者の要求と重なる場をこれからもできるなら、そういう機会をこれからも持って行ってほしい。短大・高校と更に密に連携できる体制を作っていただきたい。
- ・先生と保護者の距離が近くてよい。相談なども声をかけやすいので、うれしく感じる。
- ・行事のお泊り保育は、とても貴重な経験をさせてもらってる。これからも大事にしてほしい。
運動会は日程を考えてほしい。(地域の小学校の前日は弁当作りが大変)祖父母が楽しめる内容と時間の工夫も考慮してほしい。
- ・園内研修を更に強められることを望む。
- ・防災、危機管理の面でヒヤリハットなど、教職員全体で考え、常日頃の取り組みを大事にしてほしい。
- ・認定こども園になったが、ほとんどが1号のこどもたち。1号でも働いている保護者も多いので、警報による休園など見直しができる点があれば、考えてほしい。

※2回の会議の中で、委員の皆様が普段思っておられることを、多くの意見として出してくださることで、大事にするべき点、改善が必要な点を改めて考えることができました。

これからも園・保護者・地域のみなさまと連携して、よりよい園を作っていけるように努力していきたいと思えます。